

平成 28 年度学校関係者評価書

1 学校教育目標
「地域や保護者に信頼され、生徒や職員が誇りに思う学校づくりを目指す」（１）生徒が河浦高校に来て良かった。保護者が河浦高校にやって良かった。職員が河浦高校に勤めて良かった。地域から河浦高校があつてよかった。そう思ってもらえる学校づくりを目指す。（２）校訓「創造」「至誠」「勤勉」をしっかり身につけさせ、生きる力の育成と社会に貢献できる有為な人材の育成を目指す。（３）生徒一人ひとりに確かな学力と夢と希望を育ませ、キャリア教育の視点に立った進路指導の充実を目指す。（４）人権尊重の精神に立ち、自他の生命や人と人との絆を大切に、一人ひとりが輝き、楽しい学校づくりを目指す。（５）教職員としての資質や専門性の向上を目指す。

2 本年度の重点目標
1 校訓及び教育目標を柱とする教育の推進
2 基礎学力向上を目指す指導の徹底「Just Do It」～なんさんやる～
3 生徒指導の充実「凡時徹底」
4 進路指導の充実「ここで跳べ！伝説始動」
5 人権教育・特別支援教育の推進「学びあい・支え合い全員達成」
6 部活動の活性化
7 環境教育・道徳教育の推進
8 農業教育・家庭教育・福祉教育の推進

3 評価表				
	評価項目	評価（４段階）		評価及び提言
学校 経営	危機管理体制の強化	竹内 大橋 山下 菅原	A A A A	次 項
	職員の資質向上			
	地域に開かれた特色ある学校づくり			
学力向 上	基礎学力の向上	竹内 大橋 山下 菅原	A A A A	次 項
	授業時間の確保と充実			
進路指 導	キャリア教育の充実			
	進路希望の達成			
生徒指 導	基本的生活習慣の確立	竹内 大橋 山下 菅原	A A A A	次 項
	交通道德の定着			
	美化意識の向上			
人権教 育の推 進	人権意識の向上と人権教育の 充実	竹内 大橋 山下 菅原	B A A B	次 項
	命を大切にする心を育む指導	竹内 大橋 山下 菅原	A B A B	次 項
いじ めの 防止	いじめの未然防止や早期発見 の取組の充実	竹内 大橋 山下 菅原	A B A B	次 項
特別支 援教育	特別な支援を必要とする生徒への 柔軟な対応	竹内 大橋 山下 菅原	B B B B	次 項
特別活 動・ 部活	生徒会（学友会）活動	竹内 大橋 山下 菅原	A A A A	次 項
	部活動（運動部、文化部、農業ク ラブ、家庭クラブ）の活性化			

意見・感想	次 項
-------	-----

4 段階評価

A	十分達成できている。
B	おおむね達成できている。
C	やや不十分である。
D	不十分である。

平成 26 年度学校関係者評価書

学校関係者委員名 ()

1 学校教育目標
「地域や保護者に信頼され、生徒が誇りに思う学校づくり」(1) 生徒が河浦高校に来て良かった。保護者が河浦高校にやってくれた。そう思ってもらえる学校づくりを目指す。(2) 校訓「創造」「至誠」「勤勉」を身につけさせ、社会に貢献できる人材の育成を目指す。(3) 人と人との絆を大切に、全生徒の進路実現を目指す。(4) 生徒が主役となり、一人ひとりが輝き、楽しい学校づくりを目指す。

2 本年度の重点目標
1 校訓及び教育目標を柱とする教育の推進 2 基礎学力向上を目指す指導の徹底「もっとやればもっとできる」 3 生徒指導の充実「河高プライド」――一生懸命がむしゃんよかー 4 進路指導の充実「河高伝説」――河高から世界へー 5 人権教育・特別支援教育の推進 6 部活動の活性化 7 環境教育・道徳教育の推進 8 農業教育・家庭教育・福祉教育の推進

3 評価表			
	評価項目	評価（４段階）	評価及び提言
学校 経営	危機管理体制の強化		
	職員の資質向上		
	地域に開かれた特色ある学校づくり		
学力向 上	基礎学力の向上		
	授業時間の確保と充実		
進路指 導	キャリア教育の充実		
	進路希望の達成		
生徒指 導	基本的生活習慣の確立		
	交通道德の定着		
	美化意識の向上		
人権教 育の推 進	人権意識の向上と人権教育の充実		
	命を大切にする心を育む指導		
いじ めの 防止	いじめの未然防止や早期発見の取組の充実		
特別支 援教育	特別な支援を必要とする生徒への柔軟な対応		
特別活 動 ・ 部活動	生徒会（学友会）活動		
	部活動（運動部、文化部、農業クラブ、家庭クラブ）の活性化		

--

意見・感想

4段階評価

A	十分達成できている。
B	おおむね達成できている。
C	やや不十分である。
D	不十分である。